

# Sustainable Grief Support

無料

## 遺族支援～息長く続けていくために

最近、サステイナブル（sustainable）という言葉を目にすることがあります。持続可能と訳されますが、この言葉には大きく二つの要素があって、一つは凸凹のない常に一定レベルということ、もう一つはそれがずっと続くということだと思います。

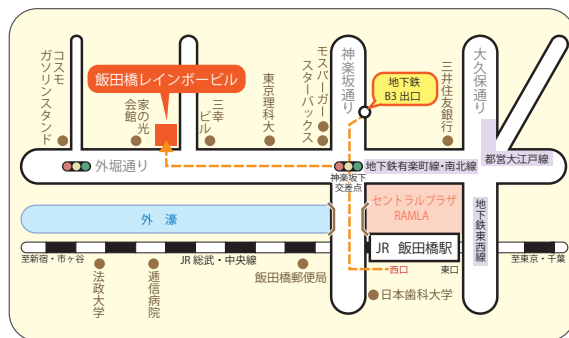
地域での自殺対策基本計画の策定が義務付けられたことは、遺族支援活動を息長く続けていくためには大きな意味があります。そこで今年度のワークショップでは、基本計画の趣旨や現状を取り上げ、質量ともに一定レベルを保っていくために私たちはどのように関わっていくべきか、そして後半には亡くなった人の尊厳について、遺された者の立場としてどう考えるかを取り上げます。いずれも講師による発題と参加者とのディスカッションを進めたいと思いますので、皆さまの積極的なご参加をお待ちいたします。

2018年 **11月3日** **土祝** **10:00～16:00**

### 飯田橋レインボービル会議室

<http://www.ienohikariss.co.jp/bld/access/>

「飯田橋」駅西口から徒歩6分



#### 自殺対策基本計画の策定が進む中で、 遺族支援の現状と今後を考える

1

- 自殺対策基本計画の意義と枠組みについて
- 遺族支援の立場で、基本計画にどう関わるか  
根岸 親（NPO法人ライフリンク副代表）  
山口和浩（NPO法人自死遺族支援ネットワークRe代表）

#### 亡くなった人の尊厳をどう考えるか

2

- 死者の尊厳、プライバシーについて
- 遺された者として、どう考え、どう扱うか  
和泉貴士（自死遺族支援弁護士）  
村 明子（NPO法人東京自殺防止センター前所長）

#### Sustainable Grief Support ～息長く続けるための条件

3

全体進行 杉本脩子（NPO 法人全国自死遺族総合支援センター代表）

#### 対象

遺族支援に関わっている、またはこれから関わろうとしている団体や個人

#### 参加費

無料

#### 申込

NPO 法人全国自死遺族  
総合支援センター事務局

<http://www.izoku-center.or.jp/>

✉ [office@izoku-center.or.jp](mailto:office@izoku-center.or.jp)

fax 03-3261-4930